

新宮山彦ぐるーぷ第2374回

行仙宿の巡回整備

◇実施日 6月22日(日) 曇り

◇参加者 沖崎吉信、児嶋道夫、湯川一郎、上村和美、山川自知、梶野照雄、杉本和巳、村吉光夫 8名

6月7日に行仙宿小屋の床マットを交換し、補給路の架橋現場に支柱パイプの枠にコンクリートを流し込んで以来の訪問になる。午前9時、登山口に集合。村吉さんは大量の杭と丸太を積んできて防腐剤を塗るという。児嶋さんは鉄塔付近に置く方位版を用意してきたが、曇っていて山がはっきり見えないので、設置を見送った。



登山口に集合



型枠を外す



幟を支柱に付ける

荷物は多くないが、モノレールに積み込んで登りだす。補給路の架

橋現場に着いてコンクリートの型枠を外す。コンクリートは完全に固まっており、登山口で外してきたジョイントをパイプに仮止めした。小屋に着くとお堂の幟を支柱に取り付けていた。破れた幟を大江さんが繕って補強した物が7枚ほどあり、また使えるように支柱に取り付けていた。



除湿剤交換

金網の整理

製材途中

湯川君は管理棟から除湿剤を探し出し、大江さんの指示通りに除湿剤交換を行った。チェンソーを出して南側で見つけた倒木を製材した。4・5mの長さで2ヶ所縦挽きしたが2・3ほど切ったところで燃料切れになり作業を終えた。小屋前では荘川桜を囲っていた金網の整理が行われた。本日は午後から雨の予報なので、11時半ごろから早めの昼食を摂り、12時過ぎに下山を始めた。倉庫から110cmのパイプを持って降り、架橋現場のパイプにジョイントで固定した。これで残りの板2枚を切り、現場に運ぶと橋が完成する。下山すると村吉さんが待っていた。防腐剤を2度塗りする予定だっ

たが、一度塗っただけで防腐剤が無くなり、時間も足りないのでもう一度塗りに来るようだ。



ゴミを持って下山

本日の参加者

板を5枚切る

皆が帰宅した後、登山口にある丸太を製材した。先日途中で終わった半割丸太を仕上げ、短い丸太を5枚の板に切って作業を終えた。雨の予報だったが帰宅するまで雨は降らなかった。
(記；梶野)

行動タイム

09:00 補給路登山口 10:05 行仙宿 12:10→12:45 補給路登山口